

月刊

# 建材

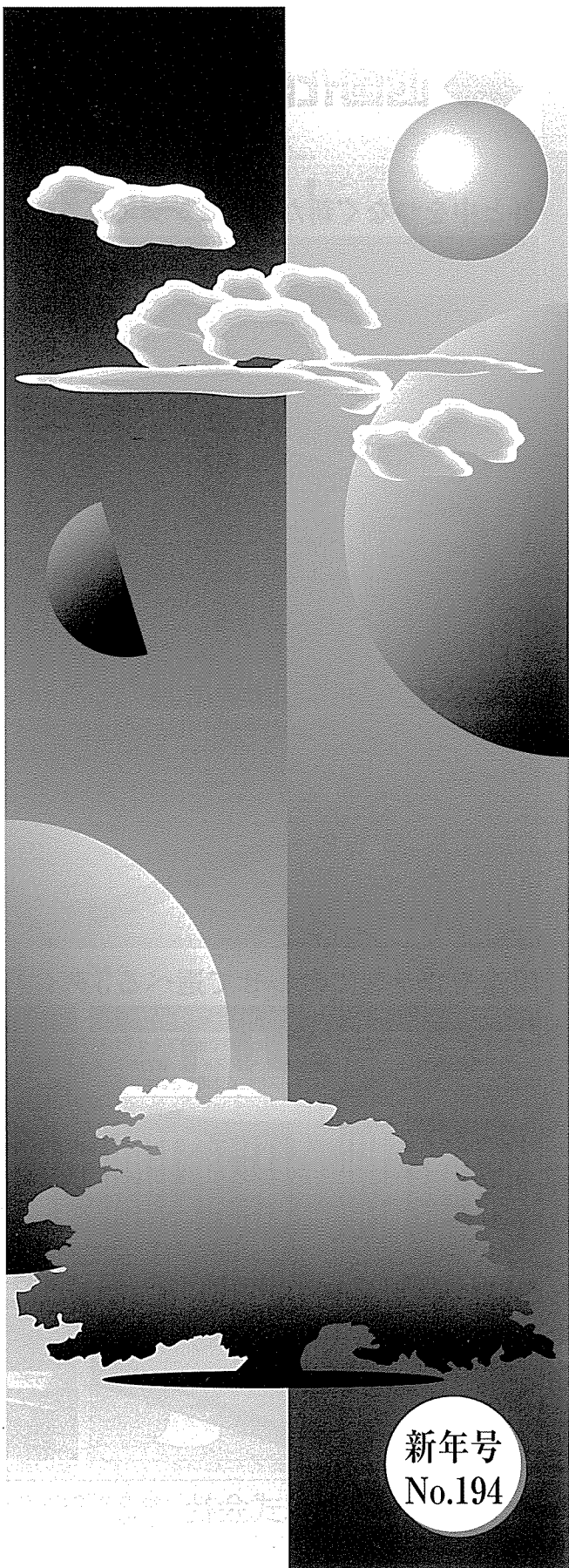
# ナビ

ナビ

特集 人工木デッキ+ガーデンルーム・

囲い商品の組合せで空間形成商品  
市場の形成を急ぐ／テラス囲い・  
ベランダ手すりを主力に展開する  
ウォールエクステリア市場

二〇一五年 年頭所感



新年号  
No.194

ミルト出版会  
〒182-0023 東京都調布市染地 3-1-87  
ト-1-407号  
☎042-484-4507  
FAX 042-484-4509  
発行人 堤 祥行  
年間購読料 30,000円(送料・税込)

## 建材 navi 新年号 -No.194 目次

<b>特集</b> 人工木デッキ+ガーデンルーム・囲い商品の 組合せで空間形成商品市場の形成を急ぐ/ テラス囲い・ベランダ手すりを主力に展開する ウォールエクステリア市場	11
[年頭所感]	3
[環境・健康建材コーナー]	8
[新製品・新技術情報/業界の動き]	19

© Miruto Shuppankai Ltd.2015 無断転載・コピーを禁ず

### 建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成27年(2015年) <input type="text"/> 号(月号)より1年間購読します。 (年間購読料/送料・税込30,000円)				
貴社名		部署	ご芳名	印
送付先			☎	
			FAX	

## 年頭所感 2015年 あけましておめでとうございます (五十音順)

### 小松電機産業

出雲で生まれた「和譲」から「和の文化」誕生が熱望される時代  
——小松昭夫代表取締役/  
(財)人間自然科学研究所理事長

あけましておめでとうございます。世界を俯瞰し、小泉八雲の「開かれた精神OpenMind」を

テーマに昨年11月、「八雲立つ出雲から陽が昇る」シンポジウムを、三大核大国の中国、露国、米国の結節点、朝鮮半島の対岸、松江市で開催したところ、国内外から500名の参加をいただきました。

乙未(きのとひつじ)は、古来より変化の年といわれています。周藤彌兵衛翁の物語から生まれた、クラウド&ルビー総合水管理システム「やくも水神」、シートシャッター happy gate 門番システムに、人間自然科学研究所の活動をあわせ、朝鮮半島と日本列島の地政学的な位置を生かし、出雲で生まれた「和譲」から「和の文化」誕生が世界から熱望される時代がきました。皆様のご賛同と、ご多幸をこころよりお祈り申し上げます。

### 三協立山(株)三協アルミ社

国内ストック市場の獲得強化にむけて引き続き「改装・リフォーム事業」強化  
——蒲原彰三社長

三協アルミでは目標として掲げる「VISION2020」の達成に不可欠となる、国内ストック市場の獲

得強化にむけて、重点施策として掲げる「改装・リフォーム事業の強化」に引き続き取り組んでまいります。

ビル建材事業では、新築需要への対応強化と併せて改装や環境分野をターゲットとするSTEER事業部を中心に、集合住宅の管理組合や学校、医療施設など幅広い分野への省エネ、環境リフォームの提案に注力いたします。住宅建材事業では、住まいに自然の風を採り入れることで省エネにも貢献できる環境商品群の販売拡大に取り組めます。併せてビルダー様のリフォーム部門向けの提案強化に取り組むとともに、全国展開しているリフォームネットワーク「一新助家」加入店のレベルアップにより、お客様の満足いただけるサービス・商品の提供に注力いたします。エクステリア事業においては、エクステリアリフォーム需要の創出に向けて各種キャンペーンや専用商品の市場投入等を進めます。

「海外展開」に関しては、現在の拠点となる台湾およびフィリピンでの事業基盤の確立に向けて現地での実績を重ねるとともに、中長期的な成長を目指せるASEAN地域での事業展開を進めてまいります。

本年も「三協立山株式会社」の中核を担う当社にとって誇りある年となるよう、「お得意先・地域社会・社員」の協業・共栄の精神のもと、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を進めてまいります。

### 三和シャッター工業

間仕切・環境建材・エントランス廻りの3商品群を  
基幹商品に成長させる  
——長野敏文社長

当社は建築用建材商品を通じて安全・安心・快適を提供することにより社会に貢献し、社会インフラを支える企業としてマーケットニーズを捉え、それに

応えるべく社員一丸となって取り組んでまいりました。現在、「三和グローバルビジョン2020」第一次3ヵ年計画において「さらなる飛躍の実現に向け、常に進化し続ける成長基盤を確立する3ヵ年」を経営方針に掲げ、基本戦略である多品種化の完全定着を目指し、成長商品と位置づけた間仕切・環境建材・エントランス廻りの3商品群を業界トップレベルの基幹商品に成長させるため、マーケット、商品、用途を細分化して品揃えする「細分化戦略」を展開しています。特にマンションドアの工法改善等による製造原価低減に向けた積極的な生産設備への投資や、環境へ配慮した商品として、突然の集中豪雨から浸水被害を防ぐ防水商品「ウォーターガード・防水シャッター/ダブルタイトドア」、気密性と耐風圧性能をよりアップした高速シートシャッターの市場投入などお客様の視点に立った「ものづくり」にこだわってまいりました。

本年も引き続き、業界トップレベルの製造技術力・商品開発

力・工務力を確立し、お客様との密接な関わりを大切にする地域No.1の販工店を目指すとともに、三和グループ全体の牽引役としての責任をはたしてまいります。

### 三和ホールディングス

「動く建材」のグローバル・メジャーに向けた取り組みを推し進める  
——高山俊隆会長・CEO

昨年は、成長基盤の更なる強化に向け、国内においては受注拡大の推進、収益性の向上に努めました。米国においては、住宅市場回復に対応した新築市場向けの製品の販売強化に注力するとともに、川下事業戦略の展開、開閉機事業のシェアアップに努めました。欧州では、厳しい市場環境下でリストラの実施、生産性の向上等、コスト削減に注力しました。また、欧州での産業用ドア市場における確固たる地位の確立をするため、オランダの大手産業用ドアメーカーの Alpha Deuren International B.V. を買収しました。アジアでは、中国を中心に契機の減速が懸念されますが、今後のグループ成長の鍵となるアジア事業の基盤整備と拡充に引き続き注力してまいります。

本年は第一次3ヵ年計画の3年目であり、数値目標についてはすでに2014年度に1年前倒しでの達成を見込んでおります。しかしながら、さらなる高みを目指し、グループの連携をより一層に

強め、「動く建材」のグローバルメジャーに向けた取り組みを引き続き推し進めてまいります。

### 四国化成工業

一歩先の楽しさや安らぎの「空間価値」を提供できる企業——田中直人専務

弊社は、平成28年3月期までの中期経営計画「SSS (Shikoku Survival Strategy) over the 500 (連結売上高500億円、連結営業利益50億円、ROA 5%)」の2年目にあたり、「スピード&ストレッチ」を行動指針にグループを挙げて諸施策を着実に実践してまいりました。建材事業におきましては、これまで新しい事業領域を意識してチャレンジしてまいりましたが、これからも「シコクらしい」と評される独創的な発想を念頭におき、安全性についても適切に対応するとともに、常に創意工夫を重ね真摯にモノづくりを進めてまいります。

住まいの市場は、高耐久化など住宅の進化とストックの十分性からリフォームに軸足が移りつつありますが、これからは単に「モノ」を提供するメーカーから、一歩先の楽しさや安らぎの「空間価値」を提供できる企業でありたいと考えています。

NHK 連続テレビ小説「マッサン」では、大阪を舞台に人情味あふれるストーリーが展開されています。劇中子供の急病に際してご近所の奥さんが「みんなでやれること、やってみよ。」と世話

をやく言葉が印象的でした。

弊社は、小粒でも世界に通用するエクセレント・カンパニーを目指し、社員ひとり一人が自ら考えあらゆる可能性にトライし、市場の活性化と業界の発展に邁進していく所存でございます。

### 寺岡オートドア

夢を失わず、世界で戦える製品と、品質、サービスを目指して邁進する——吉田毅社長

2014年を振り返りますと、3月までは繁忙の状態が続きましたが、後半の出荷状況は今一つ盛り上がりません状態が続きました。とはいえ、総じて前年並み以上の成績を残すことができました。

円安が進展し、一部の大手会社は過去最高益を上げたということですが、一方では輸入資材のコストが上がりました。気になったのは、自動車メーカーの大規模リコール報道です。やはり、品質は妥協できない部分です。コストと開発期間との関係も十分に考慮して、弊社としては、品質の追求にさらなる努力をいたします。弊社製品も、安全にかかわる部分には最新の注意を払う必要があると、改めて自戒する次第です。

ところで、弊社の製造拠点のある東京都大田区では、「下町ボブスレー」と称するプロジェクトが進行しています。町工場が集まって競技用ボブスレーを作り、オリンピック出場を目指すというもの

です。ぜひ成功してほしいと応援しています。2014年のソチでは惜しくも採用されなかったものの、2018年ピョンチャンでの採用を目指して活動しています。弊社でも夢を失わず、世界で戦える製品と、品質、サービスを目指して邁進してまいりたいと考えております。

### ナブテスコ(株)住環境カンパニー

グローバル市場でも世界トップグループに向けた基盤を築く積極経営を推進——三代洋右社長

2015年は、世界経済を牽引してきた中国経済の低安定成長への移行と、欧州経済減速の余波により、世界経済に不透明感が漂っています。唯一、米国だけが堅調であり、消費増税後の緩やかな回復途上にある我が国の景気浮揚には、アベノミクス第三の矢の成長戦略実行が急務です。建設業界では、昨年3月に打ち出された「国家戦略特区」構想が進行し、2020年東京オリンピックのインフラ整備と相俟って、今後複数大型プロジェクトが動き出すものと見込まれます。

私たちナブコグループ<ナブテスコ(株)、ナブコシステム(株)、ナブコドア(株)、オリエント産業(株)>では、市場とお客様への提供価値を向上させるべく、市場ニーズに応える高機能商品の提供や、顧客対応力の向上に向け、今迄以上にグループ会社間の連携を緊密に取り組んでおります。昨年は

35回目となりました。毎年夏の3ヶ月間に実施している「全国販売推進運動」を、2年ぶりにグループ全体での結束のもと展開しました。グループ一丸となって取り組んだ結果、全販販売会社において目標を上回る受注台数を達成することができました。

今年もナブコグループは、ナブコの自動ドア、ナブコブランドは、お客様と社会に接するグループ社員一人ひとりにより築かれるものであることを常時認識し、より良いサービスと付加価値の高い製品を市場に提供するとともに、グローバル市場でも、世界トップグループに向けた基盤を築くための積極経営を推し進める所存です。

### 不二サッシ

次代に向けて持続的発展のための基礎づくりに取り組む軸の年——土屋英久社長

当社グループは2020年の創立90周年をめざした長期ビジョンを念頭に、さらには「100周年への礎」を築くため、2011年から2020年までを3分割した目標を第1次・第2次・第3次経営計画と設定し、プロセス管理を徹底運用しています。

昨年4月から始まった第2次中期経営計画は「PROGRESS・躍進」をメインメッセージに掲げてスタートしました。中計では「CHALLENGE for CHANGE」をスローガンに、引き続き「事業構造改革」への変革を継続しつつ、市場・商品技術・人材育成といっ

た、あらゆる面で積極的に挑戦し、次代に向けて持続的発展のための基礎づくりに取り組んでいます。

2015年は第2次中期経営計画の2年目にあたり、軸の年になります。主力のビルサッシ事業については基幹商品の切り替え、商品開発力の強化、循環型社会に向けた新たな商品提案等により引き続き注力していきます。また、フロント事業やリニューアル事業、環境事業、LED事業、海外事業の推進など、スピード感を持って顧客ニーズや市場の変化に大胆に対応し、そのために必要なイノベーションを積極的に進め、業績の向上に邁進してまいります。

### 文化シヤッター

新商品の創出や未知の分野への展開等イノベーションを起こす——茂木哲哉社長

BXグループは、「お客様に安心・安全を提供する『快適ソリューショングループ』をめざして」を掲げた第三次中期経営計画の最終年度を迎え、社員一丸となって実現に向けた取り組みを進めております。

今年は生活者の視点で問題を解決する「ことづくり」をコンセプトに、革新的な新商品の創出や未知の分野への展開など、社会的課題の解決に向けてイノベーションを起こして参ります。

その中でも「止水事業」につきましては、ゲリラ豪雨による建物への浸水という不安を抱えるお客

様に対して、国土交通省が推進する“浸水防止対策”の方針に沿って、商品のバリエーション拡充を図っております。昨年7月発売した「アクアード」は、通常使いができる防火性能を有したドアに止水性能をもたせた止水ドアで、浸水時にはビルの動力源などを守れることから、発売後、多くのお客様より反響をいただいております。

海外展開につきましては、現地法人であるBX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.の経営が起動に乗って参りました。現在、ベトナムにおいては日系企業向けの受注が好調である一方で、東南アジアを中心に建設が進められている空港・港湾施設や大型商業施設向けの物件を対象に順調な受注活動を続けており、更なる成長を見込んでおります。

今後もアジアと共に成長することを念頭に置き、東南アジアのさらなる発展に貢献したいと考えております。また、本年は創立60周年を迎える節目の年となります。BXグループは、今後も新たな歴史に向けてさらなる飛躍をめざし、社会に貢献できる商品とサービスを追求して参ります。

### LIXIL

住生活産業のトップランナーとして、リフォームに適した商品と提案力を強化し、住む方にクオリティの高い暮らしを提供  
——藤森義明 LIXIL  
グループ取締役代表執行役社長兼 CEO / LIXIL 社長兼 CEO

2015年は、より安定した収益力のある成長を目指して、4月か

ら、4つのテクノロジーカンパニーを幹とした新しい事業モデルに移行します。この1年間、グローバルも含めた経営トップが議論を深め、事業ストラクチャを大きく変換することを決定しました。グループ全体でのより一層のシナジーを発揮し、「グローバル化を加速する」とともに、「世界レベルで優れた人材を活用」し、「カンパニー間のシナジーにより、LIXILの強みを最大化」していきます。

海外事業ではとくに、北米・欧州・日本の水まわり事業を一体化させ「LIXIL Water Technology」として、売上高6200億円におよぶ世界最大規模の水まわりカンパニーが誕生します。GROHE、American Standard、JOYOU、LIXIL/INAXの4つの主要ブランドを世界的な成長ブランドとして位置付け、世界統合した指示システムにより、より早い意思決定、経営の効率化、シナジーの加速を目指します。

国内においては、リフォーム事業をより一層推進していきます。グローバル化を進めているなかでも、国内市場は、当社グループにとって売り上げの多くを占める大市場です。人口減少とストックの余剰によって、新築着工数は減少していますが、少子高齢化、単身世帯の増加や省エネルギー、耐震など、住環境の変化と住まいへの新しいニーズがある限り、リフォームは更なる大きな需要があります。1日で交換できる玄関ドアやリフォーム専用トイレなど、



手軽にリフォームできる商品をはじめ、キッチン、バスルーム、サッシやインテリア、エクステリアに至るまで、LIXILならではの技術を活かし、お客さまの求める商品を開発してまいります。そして、流通店様、施工会社様とより強固な関係を築き、今まで以上に協働して市場全体の活性化を目指します。

住宅ストックの活用は、日本社会が抱える大きな課題でもあります。住生活産業のトップランナーとして、リフォームに適した商品と提案力を強化し、住む方にクオリティの高いよりよい暮らしをご提供することで、社会全体の成長に寄与していきたいと考えています。

### YKK AP

モノづくりと品質にこだわり、「小エネ(ローエネ)」な住まいや健康な暮らしを提案し、豊かな社会づくりに貢献したい  
——堀秀充社長

2015年度は、消費税増税の延期や住宅エコポイントなどの景気対策による効果が期待されています。このような環境下で当社は「商品力・提案力によるAP事業の持続的成長」を基本方針に掲げ、新築・リフォーム分野ともに更なる競争力の強化を図ります。新築分野においては、断熱性能の高い樹脂窓を中心とした商品力強化により差別化を図ります。リフォーム分野におい



では、中古住宅のリノベーション市場などに向けた商品・工法を更に拡充し、「窓から広がるリフォーム事業」の基盤を構築していきます。

海外AP事業は、既存国の事業深耕と新規進出国の事業基盤づくりに取り組みます。米国では、好評をいただいている断熱性能の高い環境配慮商品やハリケーン対応商品を既存市場で深耕するとともに、テキサス工場を基点に進出エリアの拡大を進めます。中国においては、停滞する不動産市場の中で内需の拡大を図るべく、営業力の強化、製造供給体制の整備に取り組みます。インドネシア、マレーシアでは、基幹商品「NEXSTA」の提案による販売増を推進していきます。

YKK APは、本年もモノづくりと品質にこだわり、お届けする商品を通じて、「小エネ(ローエネ)」な住まいや健康な暮らしをご提案し、より豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えております。

### 日本シャッター・ドア協会

防火設備の検査報告制度、浸水防止用設備の基準づくりに取り組む  
——岩部金吾会長

当協会は昨年12月に創立50周年を迎えました。1964(昭和39)年に(社)日本シャッター工業会として設立し、2000(平成12)年には組織を拡大して(社)日本シャッター・ドア協会と改称



し、今日に至っております。

新しい年を迎えましたが、シャッター、ドアにおいては、既に設置したストックが年々増えており、とくに経年劣化の進んだ製品については保守点検を徹底し、安全性の確保に取り組んでいく必要があります。

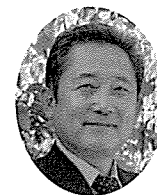
防火設備における新たな検査報告制度については、現在、関連する委員会や研究会などが設置され、当協会からも委員を派遣し、実施にあたっての具体的な検討が行われています。シャッター、ドアなど防火設備の安全性を確保するため、検査報告制度が導入されることになったのは、協会にとっては長年の推進活動の実現であり、現在、実施に向けて協会をあげて協力しているところです。

一方、新たな事業として着手した浸水防止用設備の検討については、今年も引き続き、国土交通省における「水災害に関する防災・減災対策本部会議」等の進展を踏まえ、関係団体とも協働しながら、浸水防止用設備の基準づくりに関する検討を深め、普及に努めてまいります。

### 全国エクステリア工業会

流通の皆様とタッグを組み、新市場の創造に努力を重ねていきたい  
——高岡伸夫会長

昨年の雪害では、カーポート、テラス等の商品に直接被害が及び欠品に繋がる等、流通の



皆様にご迷惑をかけました。エクステリア商品は、ソトのフィールドをベースにしていることから、自然の恵みを受用できる反面、その過大なエネルギーをそのまま受けざるを得ない宿命に複雑な思いを感じざるをえません。

未来に向けて、昨年の11月28日、各業界の代表の方々が集まれ「エクステリアの日」の制定がなされました。また、関東問屋会の設立、日本エクステリア設計協会の設立、日本ウッドデッキ協会の設立、人工木デッキのJIS化等、エクステリアを取り巻く環境は着実に日の当たる場所へと移動してきています。

全国エクステリア工業会は、これ様ざまな諸団体と一体になって、安心・安全な商品づくりを志してまいります。豊かで幸せな暮らしと共に、高齢化に向け健康を考えた空間などエクステリアが果たす役割は今後ますます大きくなってまいります。全国エクステリア工業会がエクステリアの社会認知に向けて中心的役割を果たしていければ願っております。

当工業会ではエクステリア空間におけるライフスタイルの変化を先取りしながら、中古住宅市場、リフォーム市場における“アフターセット市場”、また省エネ、創エネなどのスマートハウスに対応する未来の住宅などへも、積極的に取り組んでいかねばならないと思います。そして“エクステリア”がこれからの日本の発展、拡大に向けてお役に立てる産業になりますよう流通の皆様とタッグを組み、新市場の創造に努力を重ねていきたいと思っております。

## 【環境・健康建材コーナー】

LIXIL

「エクステリアコンテスト2014」の大賞に  
「景色工房サフラン(有) サフラン」(神奈川県) 選出、  
「リフォームの良き手本」と高い評価

LIXIL(藤森義明社長)は、「LIXILエクステリアコンテスト2014」を開催し、応募総数6446作品の中から大賞作品「景色工房サフラン(有) サフラン」(神奈川県/エクステリアリフォーム部門)をはじめ、入賞作品320作品を決定、表彰した。

エクステリアと家族の幸せ部門のニコニコ大賞には、「にわいるSTYLE(旧:庭彩デザイン工房)」(兵庫県)が選出された。

大賞作品の受賞店は、中古住宅をリノベーションしてお住まいのご夫婦からのご依頼で、部屋の中と揃えた「白」を基調としたガーデンリフォームを実施しました。ブロンズ色のサッシ・雨戸の戸袋も白くペイントして、「ココマ」のホワイト色とコーディネート。既存の柿の木と新たに植栽した山取りの雑木で、森のカフェのような佇まいを目指しましたと、喜びのコメント。

審査員(古橋宜昌氏)は、「既存の外構は時代を感じさせる仕様とデザインであり、建物の印象もどことなく新しい印象でした。しかし、リフォームによりエントランスばかりでなく、ココマを設置したテラス空間までもがとても心地よい場所として大変身してしまいました。ココマの色も白を基調として建物のサッシや雨戸の戸袋もシロに変更しているのです。暗かった印象が一気に明るくなっています。

間口が狭くなってしまった門まわりも、左右の袖壁を前後にずら

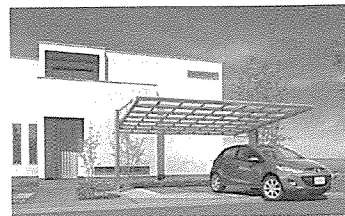


し植栽とコーディネートすることで空間にリズムが生まれました。これからは新築だけでなくこのようなリフォーム需要が増えることは間違いありません。この作品は、その良き手本となる事例として高く評価をさせて頂きました」と講評した。

各部門の金賞受賞店は次の通り。◇門まわり・車庫まわり部門——(株)堀史創建サンパティオ店<愛知県>。◇自然浴エクステリア部門——ドリームガーデン(株)<茨城県>。◇パブリック空間部門——ムサシノ工業(株)<埼玉県>。◇エクステリアリフォーム部門——(有)サフラン<神奈川県>。

前方に柱がない後方支持タイプのフラットルーフ形状のカーポート「アーキフラン」新発売

LIXILは、前方に柱がない後方支持タイプのカーポート「アーキフラン」をTOEXブランドから昨年12月新発売した。



「アーキフラン」は、狭小地でも車の出し入れがスムーズにできるユニバーサルデザインを採用。フラットなルーフ形状で住宅デザインとの調和がしやすいことも特長。柱パネルに木目色「クリエカラー」4色・アルミカラー2色を用意。門扉・フェンス、玄関ドアなどのカラーコーディネートが可能。

1台駐車用・2台駐車用・3台以上の多連棟タイプを品揃え。耐積雪20cm相当・風速38m/s相当。参考価格:27 50型(間口2707×奥行5017mm)1台駐車用で38万9000円。2台駐車用77万3000円。

LIXILビバ

「スーパービバホームさいたま新都心店」オープン、災害時に地域住民に開放、飲料水・トイレ・電力等を確保

LIXILビバ(渡邊修社長)は、次世代型ホームセンターの旗艦店「スーパービバホームさいたま新都心店」(スーパービバホーム34号店目)を、昨年12月3日ランドオープンした。

1階2階に「スーパービバホーム」、3階4階に食料品からファッション、雑貨、サービス、飲食まで20の専門店「ビバモールさいたま新都心」を併設する。6階7階にLIXILビバの本社を移転した。

最新モデル店舗「スーパービバ

ホーム」は、家一軒分の建材・資材・工具を揃えた「資材館」(売場面積約1400坪)や「住宅設備・水まわり用品」コーナーをはじめとしたオフィス街・高層マンションエリアを考慮した地域に密着した圧倒的な品揃え、さらに、さわって、確かめて、納得して購入できる体験型の売場、施工実績50万件突破の「リフォーム&デザインセンター」などが特長。

同施設は、全館にLED照明を採用し、屋上には太陽光パネル24KW(96枚)を設置し本社フロアで使用するLED照明の電力を賄っていること。建物中心部にライトコートを設けてオフィスに自然光を採り入れたり、スイング窓による自然換気などパッシブな環境やエコに配慮した設計。また、災害時に地域の生活を守る拠点としての機能を備えている。停電時も約20時間の継続営業、本社フロアも約65時間の継続運用が可能であること。断水時にも地域住民1万人分のトイレ設備・飲料水の供給が可能である——など地域住民をサポートする諸機能が備わっている。

■所在地:さいたま市浦和区上木崎1-13-1。◇営業時間:資材館6時30分~21時/生活館9時~21時。◇売場面積:約4000坪。◇駐車台数:約740台。



市場4兆円に加えて、リフォーム市場7兆円をターゲットに展開し

ていることよるとして、2014年度単体売上高1700億円、2019年単体売上高2500億円を目標に、新規出店を年間5店舗のペースで進めていくと述べた。

また、グループ全体の中期計画では、リフォーム事業2019年売上高5000億円で業界ナンバーワンをめざしている。さらにはアジア全域で1兆円規模のリフォーム事業の創出をめざしている。

LIXIL

「エコエア90」と新工法「ココエコ」でエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

LIXIL(藤森義明社長)は、「第11回エコプロダクツ大賞」において、高効率・熱交換換気ユニット「エコエア90」と、一部屋単位からエコリフォームできる新発想の工法「ココエコ」で、「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)」を受賞した。

「エコエア90」は、高い熱回収率を達成し、ランニングコストを抑え、熱損失の少ない高効率熱交換システムであるとともに、コンパクト設計で天井懐への設置が可能であるなど、リフォーム時に取り入れやすいと評価された。

「ココエコ」は、壁パネルと床パネルに薄くても大きな断熱効果を発揮する真空断熱材を採用し、既存の建物を壊さずに必要な部屋だけを住みながら改修できる新発想のエコプロダクツである。一部屋からの断熱改修が可能で、省資源、省エネルギー効果に優れ、解体しないことから廃棄物を低減することができ、コ

ストの抑制にもつながると評価された。

YKK AP

「ピタット Key システム」搭載の「電気錠付ルシアス門扉」を新発売



YKK AP(堀秀充社長)は、非接触カード(シール)やスマートフォンなどで施錠できる「ピタット Key システム」を搭載した、「電気錠付ルシアス門扉」を昨年12月1日新発売した。大好評の玄関ドア「スマートドア」と鍵を同一化、連動させて玄関まわりの利便性を向上させる。

カード/シールキーを玄関ドアのハンドルや門扉本体の読み取り部に近づけるだけで施錠するシステム。カードキー3枚とシールキー2枚を標準装備。カードキーは財布やパスケースに入れたままでも作動する。カギとする場合の費用はかからない「おサイフケータイ」や「楽天Edyカード」もカギとして使用可能。

また、両面シリンダー仕様や、施錠に合わせてLED点灯・確認音の設定、25秒以内に扉を開かなければ自動的に再施錠される「誤操作防止機能」などの防犯配慮性能を備える。さらに、簡単な再登録、モニターホンとの連動による遠隔操作も可能。「ルシアス門扉」以外の門扉にも4月以降、順次ピタット Key システムを導入す

る計画。

### 三協アルミ

「富山ショールーム」、  
リニューアルオープン



三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は昨年12月6～7日の2日間、「富山ショールーム」のリニューアルオープンフェアを開催した。

11月28日のオープニングセレモニーでは、三協立山の山下清胤社長、三協アルミ社の蒲原彰三社長が挨拶、富山三協立山会会長のアリタ在田吉保アリタ社長、とやま一新助家クラブ会長の山田則芳ヤマダ産業会長が祝辞を述べた。

リニューアルのポイントは、家づくりのイメージを膨らませられる家1棟をイメージした商品展示。施主と工務店双方が商品を見て検討でき、多目的スペースとしても活用できる打ち合わせコーナーを新設。流通店向け研修や施主向け各種イベントの開催が可能になった。

施主対象の最初のオープンフェアでは、植物工場の野菜プレゼントをはじめ、スタンプラリーの参加者を対象にした大抽選会、クリスマスツリー作り、バルーンアートショーなどの催しが行われた。

□住所：富山市荒川3-2-6(富山支店隣接)。◇敷地面積：約5738㎡/建物面積約176.9㎡展示面積324㎡、住宅建材・エクステリア建材等。◇営業時間

10:00-17:00、祝日・年末・年始・GW・夏期休業。

### 日本エクステリア工業会

アルミカーポート製品の安全性確保のためにをテーマに1月23日の東京会場を皮切りに長野・埼玉・神奈川で「アルミエクステリア安全施工」講習会開催

日本エクステリア工業会は、三協立山、四国化成工業、大仙、LIXIL、YKKAPの協力の下に、“アルミカーポート製品の安全性確保のために”をテーマに、「アルミエクステリア安全施工」講習会を開催する。

昨年2月14日～16日の豪雪によりアルミエクステリア製品の被害が多かった東京・長野・埼玉・神奈川において実施するもので、アルミカーポート設置に携わる工事業者(バルコニー施工技能士)および販売業者を対象にする。

講習会は、オフィス・ナカムラの 中村一生日本エクステリア工業会理事、内山デザインスタジオの内山協一日本エクステリア工業会施工委員の両氏を講師に、アルミカーポートに関する雪害予防対策の実務、積雪と強風、安全施工要領のカリキュラムが組まれている。

■開催期日・場所——◇東京：1月23日(金)・中野サンプラザ。◇長野：1月24日(土)・長野市生涯学習センター。◇埼玉：1月26日(月)・ものづくり大学。◇群馬：1月27日(火)・アニバーサリーコートラシーネ。◇神奈川：1月28日(水)・かながわ労働プラザ。いずれの会場講習時間9時から12時まで。定員100人。

■受講申込先——日本エクステリア工業会講習会係、電話

03-3841-9961 / FAX03-3841-3791。申込締切は1月16日(金)。

### 不二サッシ

グッドデザイン賞受賞  
「ALAIR-GRAND」発売

不二サッシ(土屋英久社長)は、LED商品「アルエア ライティングシステム」に、2014年度グッドデザイン賞を受賞した最上位機種「ALAIR-GRAND(アルエ アグラン)」をラインアップした。

「アルエア ライティングシステム」は、独自開発し製造特許を取得している薄型面発光LEDモジュールを採用し、アルミの高級感を前面に出したデスクライトシリーズ。

### タカノ

リゾート施設に寛ぎの大空間を演出する大型タープ「ルーラ」新発売

タカノ(鷹野準社長)は、大空間を一気に覆うことができる大型タープ「ルーラ」を昨年12月発売した。2013年グッドデザイン賞を受賞した自立型オーニング「リパーロ」据え置き基礎ベース方式タイプをはじめ、壁付型オーニング、大型パラソル、ファニチャーシリーズなどを展開する同社のエクステリア事業の新商品。

大型タープ「ルーラ」は、昨年の国際ホテルレストランショーに参考出品されたもの。リゾート施設などで多くの人々がくつろげる直射日光を和らげ、涼しい大きな日陰をつくり、くつろぎの大空間を演出する。

フレームはスチール製(粉体塗装ブラック)、生地は防災仕様(日本製ポリエステル生地・シャガー)。操作リモコン電動式、停電時手動操作。価格220万円。

## 特集 人工木デッキ+ガーデンルーム・囲い商品の組合せで 空間形成商品市場の形成を急ぐ/テラス囲い・ベランダ手すりを主力に展開するウォールエクステリア市場

新築住宅では、門扉・フェンスの外構商品、カーポート・サイクルポートの車庫まわり商品、さらにバルコニー・ベランダ手すりの窓まわり商品の採用がもともとオーソドックスなエクステリアプランとして広がっている。いわゆるガーデンエクステリア商品とウォールエクステリア商品を両輪にエクステリア市場を形成・拡大してきた。

これらの住宅エクステリアの定番商品が成熟期に入ったことから、業界では新たなエクステリア商品、第3の大型市場の創出に力を注いできた。そのパイオニアは、LIXILのTOEXブランドである「自然浴エクステリア・エクシオール」に代表される空間エクステリア商品といえる。これら空間形成商品はアウトドアリビングとも呼ばれるが、住宅の開口部・外壁と外構の間にある敷地を有効に活用し、ライフスタイルに応じた新たなエクステリア空間の創出に狙いがある。

そのモデル商品が、LIXILの人工木デッキと、フルオープン可能な折戸を採用した自然浴エクステリア・エクシオールであり、一般的にガーデンルームと呼ばれている。

ガーデンルームは、フレームとパネルを組み合わせる屋根付きの囲われた空間を形成するサンルームやテラス囲いとは違って、フルオープン可能な折戸パネルの採用や前面腰壁側面パネルスタイルなど、常に外部に開かれている形で空間を形成している点が大きな特長だ。

様々なスタイルのガーデンルームが登場してきたが、フレームと腰壁を組み合わせたバトリスタイプや木製デッキと組み合わせたテラスタイプ、さらには大型スクリーンを活用したタイプも空間エクステリア商品の一角を形成している。

主力商品として期待されるガーデンルームは、生活に不可欠なエクステリア商品とは言えず、一定の敷地を占有する高額商品でもある。大都市部では敷地いっぱい建てられる住宅が増えていることも不利な材料である。カーポートのスペースを確保すると、ほとんど余地がないケースがおおい。その一方で、洗濯物干し場や趣味の作業場などのアウトリビング空間を求めるニーズも少なくない。今後、限られた敷地の中でも採用できるような空間エク

テリア商品を中心に市場の拡大を図っていくことになる。

2013年度の上位4社の販売実績をみると、門扉・フェンス約830億円、前年比2.5%の微増。カーポート約490億円、前年比18%増と2ケタ成長。ガーデンエクステリア分野は、旺盛なカーポート需要に支えられ好調に推移した。

一方、ウォールエクステリア分野は、テラス・テラス囲い、ユニット式バルコニー・ベランダ手すりを主力商品に展開しているが、ガーデンエクステリア分野ほどの成長は期待できない。

このために、住宅エクステリアの大型商品として育成が急がれている新たな商品分野が、アウトドアリビングとも呼ばれる空間エクステリア商品。主力アイテムは、ガーデンルームやバトリス、ウッドデッキなどの空間創造型商品群。

LIXILのTOEXブランドである自然浴エクステリア・エクシオールをパイオニア商品とする空間エクステリア商品は、フルオープンの折戸パネルスタイルや前面腰壁サイドスルースタイルなどバリエーションの充実が図られてきた。その基本は室内外を一体化したアウトリビング空間の創出にある。閉鎖された空間ではなく、開放的な外部空間である。

いずれも敷地に余裕のある住宅が対象で大都市部におおい狭小地住宅には不向きであること、あるいは高額商品であることなど、いくつか解決すべきテーマはあるが、ガーデン、ウォールにつづき大型市場の創出には越えねばならないハードルでもある。

——デッキ材と空間創造型商品——

### 2013年度デッキ材+空間エクステリア商品売上高約210億円、ガーデンルームを軸に更なる成長見込む

各社ともデッキ材とガーデンルームの開発・投入を本格化させてきた。LIXILは、ガーデンラウンジ「ココマII」、自然浴家族「ジーマ」、エクシオール「暖蘭物語」を主力商品として展開、市場をリードする。その中でも「ココマII」は、ガーデンルーム・サイドスルー・オープンテラスの各タイプと、それぞれの腰壁タイプ、L字腰壁タイプなど、様々なライフスタイルに応えられるようにバリエーションを充実させた。

三協立山はガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、四国化成工業がガーデンルーム「F.リード憩」、YKKAPが「アフターーフ・ガーデンルームタイプ」を相ついで発売した。これらの商品の共通点は、フルオープン・クローズ機能を備えた独自の折戸パネルを採用し、室内外の一体化を図っていることにある。

最近増えているタイプは、前面腰壁仕様で、くつろぎのスペースや洗濯物干し場、物置などユーティリティスペースなどに利用されている。さらに、最近のペットブームでペットとの共有スペースとして採用されるケースもおおいようだ。こうした使われ方は、テラス囲いを活用することで比較的安価に設置できることが特長。

\* \* \*

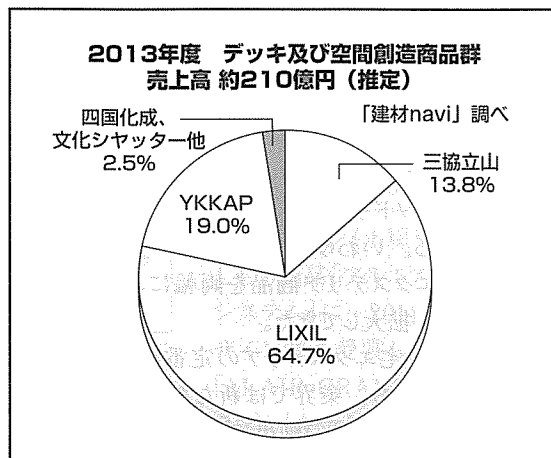
デッキ材市場は、三協立山、四国化成工業、LIXIL、YKKAPをはじめ、タカショー、文化シャッター、越井木材工業、ユアサ建材工業、中村製作所など多数のデッキ材企業が参入している。地場の工務店が自社調達資材を使い現地施工するケースも少なくない。

木製デッキ材の主力は、天然木から人工木デッキへと移行した。天然木デッキは、デッキ専門企業が輸入材や国産材を調達し、現場で加工・施工するオーダー品として扱われている。

その一方で、空間形成商品やテラス・テラス囲い、バルコニーなどのアイテムを揃える企業は、それらの商品と木製デッキとの複合商品という形で販売しているケースが目立つ。

\* \* \*

上位企業の2013年度デッキ材売上高は約138億円と推定される。LIXILが約76億円、YKKAP約35億円、三協立山約23億円で上位を形成する。さらに、デッキ材を含めた空間創造型商品は約210億円と推定される。空間創造型商品の主力アイテムであるガーデンルームは、パイオニアのLIXILにつづき、三協立山、四国化成工業、YKKAPが本格的に取り扱いを開始したこともあって成長が期待できる。ガーデンルーム以外のテラス囲いなど囲い商品を、空間形成商品に含めるかどうかで市場規模も違って来るが、門扉・フェンス、カーポートにつづく、住宅エクステリアの大型市場として育成が急がれる。



—ウォールエクステリア—

**2013年度売上高：テラス・テラス囲い約300億円、バルコニー・ベランダ手すり約278億円、風除室約30億円、オーニング約27億円**

ウォールエクステリアは、テラス・テラス囲い、ユニット式バルコニー・ベランダ手すりを主力商品に、風除室、オーニング、ひさし・ルーバーなどの窓まわり商品で形成される。ガーデンエクステリア商品よりも、住宅外観スタイルの変化の影響を受けやすい分野である。

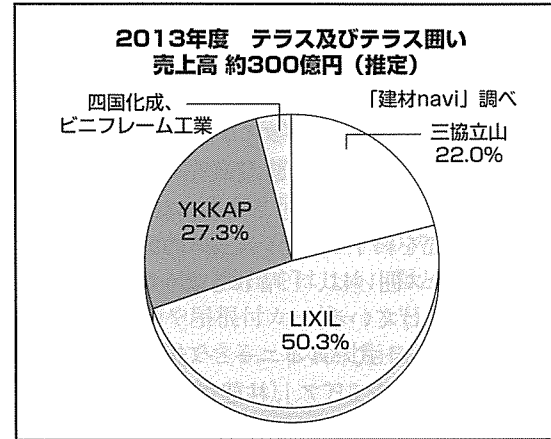
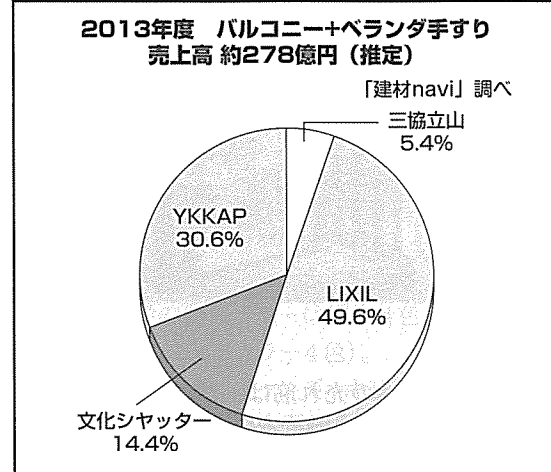
これら一連のウォールエクステリア商品の総売上高は約640億円と、門扉・フェンス、カーポートのガーデンエクステリア商品とともに、住宅エクステリアを牽引することに変わりはない。

\* \* \*

いまウォールエクステリア市場は、テラスとテラス囲いが牽引している。テラスは、カーポートや玄関アプローチ、バルコニー・軒先の雨よけなど、さまざまな使い方ができる汎用性の高さがセールスポイント。

とりわけテラス囲いは、サンルームの代替品として需要を拡大し、最近では木製デッキ材と組み合わせるガーデンルームのような使われ方で注目を浴びている。さらにバルコニー囲いタイプも登場するなど、用途を拡大しつつある。テラス・テラス囲いは、三協立山、四国化成工業、ビニフレーム工業、LIXIL、YKKAPなどが市場を形成する。

2013年度テラス・テラス囲い売上高は約300



億円と推定される。LIXILが約151億円、YKKAPが約82億円、三協立山が約66億円で牽引する。

\* \* \*

ユニット式バルコニーは、減少傾向に歯止めを掛けるため、高意匠・高機能・高強度タイプの新商品開発がつけられている。YKKAPのエアルバーを採用した躯体式バルコニー囲いも、バルコニーに新たな価値を付加する試みのひとつといえる。

そうした新商品開発によって、新築住宅向けの柱なしタイプが僅かながらも増加しつつある。柱なしタイプの販売は、YKKAP 40%、LIXIL 35%、三協立山 15%の比率。依然として、主にリフォーム向けの柱建てタイプ、屋根置きタイプの割合が60%以上を占めている。

2013年度ユニット式バルコニー売上高は約90億円と推定される。前年度実績をさらに下まわった。メーカー別にはLIXILが43億円、YKKAPが約

30億円、三協立山が約13億円と推定される。

新築向けのユニット式バルコニーの減少をカバーする、2013年度ベランダ手すり売上高は、一部集合住宅用を含めて約188億円と推定され、ユニット式バルコニーの売上高を上まわっている。この分野では、文化シャッターが施工力を活かして3強の一角を占めている。メーカー別には、LIXIL約95億円、YKKAP約55億円、文化シャッター約36億円と上位を形成する。

\* \* \*

風除室は、玄関前アイテムのひとつとして、主に寒冷地、積雪地域で採用されているが、台風通過地域では風除けとして機能を発揮できる。2013年度売上高は約30億円と前年度と変わらない。地域限定型商品としての色合いが濃く、LIXIL約14億円、YKKAP約11億円、三協立山約5億円にとどまる。

オーニングは、夏場の節電・省エネ商品として注目される商品のひとつ。住宅用と一般店舗・商業施設向けにおおきく分かれる。テンバルやタカノのような専門メーカーは主に一般店舗・商業施設向けに展開している。市場規模も住宅向けよりも大きい。住宅向けは、窓まわり商品を扱うメーカーが省エネ・遮熱対策のエコ商品のひとつとして拡販をすすめる。上位企業の2013年度売上高は約28億円、このうち住宅向けは約15億円と推定される。LIXIL約6億円、YKKAP約4億円、文化シャッター約3億円と推定される。

こうした夏場の遮熱対策商品は、オーニング以外にも新しい窓まわり商品として開発がすすめられており、ウォールエクステリアの新アイテムとして市場開拓が期待される。

**三協立山**

**ガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、人工木デッキ「ひとと木2」軸に空間EX需要創出**

【ウォールエクステリア】■空間創造型商品—  
◆ガーデンルーム「ハッピーナ」：土間仕様・デッキON仕様・デッキIN仕様。フレームは木調感を印象づけるカラーバリエーション。フルオープン可能な「折りたたみ戸」をはじめ、「腰パネル」(サイディング7種・アルミパネル7種)、「袖パネル」(サイディング7種)、

「腰下アルミパネル」の多彩な開口部バリエーションが特長。◆ガーデンテラス「スマーレ」: 正面FIX窓、両側面ルーバー引戸の全天候型テラスの「サイドクローズタイプ(デッキON仕様)」/「オープンテラスタイプ+サイドオープンタイプ(土間仕様・腰パネル)」/「オープンテラスタイプ(土間仕様・腰壁)」。

◆人工木デッキ「ひとと木2」: 天然木の温もりのある風合いを再現した床板4色と、表面を凹凸加工した木目風柄の木目床板2色。フェンス・ハイパーティション・スクリーン・門扉の多彩なバリエーションを用意。◆ガーデンルーム「M.フレイジ」「ファニチャー」等。

■テラス——◆新商品「シャルレ」(屋根枠・桁をシャープな曲面デザインで統一したモダンデザイン) / 「アールビュー」(2階設置に最適な緩やかなアール屋根テラス) / 「ナチュレ」(前面パネル・木調スクリーン等)。

◆「メニーウェル」(柱付きタイプ・柱なしタイプ) / 「グッドコート」/ 独立式テラス「セパーネ」/ 「テラーネZ」等。

■囲い商品——◆テラス囲い「晴れもようⅢ」(土間仕様・デッキ仕様・デッキON仕様。物干し場や物置に利用)。

◆風除室「暖たす」(ハンガー引戸・引違い戸・プッシュブルドア) / 外部収納庫「オイトック」等。

■バルコニー・ベランダ手すり——◆柱建てバルコニー「スーパーエリーバ」(屋根置き式・庭置き式) / 柱なしバルコニー「グランドシェビア」/ 笠木付き手すり「コープレイJr」等。

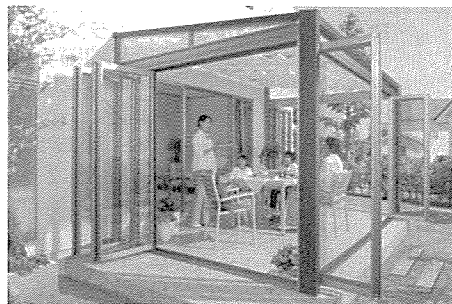
■アウトドアリビング——◆オーニング「カフェリオ」(ロールタイプ・ウィンドウタイプ) / 「ラクシェード」等。

◆「ソラノマ」(フレーム・パーゴラ・格子・ルーフ・フロア等で構成) / 「ハウスガード」/ 「濡縁」等。

【最近の動き】 ガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、人工木デッキ「ひとと木2」を重点商品に、アウトドアリビング・空間エクステリア分野への浸透を強化している。

ガーデンルーム「ハッピーナ」は、フルオープン可能な折りたたみ戸をはじめ、多彩な開口バリエーションを品揃えしていることが特長。人工木デッキ「ひとと木2」は、ガーデンルーム「ハッピーナ」やガーデンテラス「スマーレ」と組み合わせて室内外を一体化した快適な空間を創出するもので、空間エクステリアの主力商品として拡大をつづけている。

三協立山・好評のガーデンルーム「ハッピーナ」、庭との繋がりを重視した土間仕様



ガーデンルームの売れ筋は、ライフスタイルに応じた好みのアウトドアリビングとして活用できる「ハッピーナ」の95万円。またデッキ材の売れ筋価格帯は、1平方あたり設計価格4万2000円を中心に展開する。

ウォールエクステリアの主力商品に成長したテラスは、一般地域用の600タイプから積雪地域用の1500・3000タイプ、3階建設置型のバリエーションを揃える「メニーウェル」を主力に拡販を進める。さらに、販売を終了したサンルームの応用商品ともいえるにテラス囲いは、「晴れもようⅢ」を中心に実績を積みあげている。

一方、ユニット式バルコニー・ベランダ手すりは、柱なし「グランドシェビア」、柱建て「スーパーエリーバ」、手すり「コープレイJr」を主力に展開する。ユニット式バルコニーのタイプ別販売割合は、柱なしタイプ15%、柱建てタイプ43%、屋根置きタイプ42%の比率。リフォームへの対応がおおいようだ。

そのほかのウォールエクステリア商品としては、積雪地域を対象にした風除室や、夏場の遮熱・省エネ対策に効果的なオーニングなどが注目されている。

#### 四国化成工業

#### ガーデンルーム「F.リード憩」と「ファンデッキHG/SG」を組み合わせた四季を感じるくつろぎ空間を提案

【リビングエクステリア】■ガーデンルーム「F.リード憩」: 四季を感じる庭・もうひとつのくつろぎ空間を創出。耐積雪20cm対応に冬景色を楽しめる耐積雪50cm対応の高強度タイプを追加。デッキON仕様・土間仕様。

折りたたみ戸で屋根下全体を囲み広く活用できる

「キューブタイプ」/ 前面にひさしを設けたオリジナルデザインで、雨の日でも前面の折りたたみ戸を開けたまま過ごせる「ルーフタイプ」/ オープンな「テラスタイプ」(連棟ユニットの組み合わせ可能)の3タイプ。

戸袋納まりや換気扇などの障害物を避けて施工できる「調整パネル付タイプ」追加。折りたたみ戸は家側まで移動・収納可能。外からも開閉できる仕様。柱・梁の側面カラーは標準4色・特注色9色(木質5色・ビビッドカラー4色)。

■デッキ——◆「ファンデッキHG/SG」: 天然木に迫る素材感をもつ木質樹脂を採用。ライトブラウン・セピアブラウン・マロンブラウンの3色。店舗や公共施設にも使用できる高強度SGタイプ(耐荷重3500N/m<sup>2</sup>)を追加。バルコニーにも設置できるH100~165mmの施工が可能な「低床タイプ」追加。幕板厚30mm仕様・薄幕板10mm仕様・アルミ幕板10mm仕様。デッキ面への手すり取付け可能。専用フェンス・門扉を用意。

■バトリス——◆「ハイパーバトリス」: スタイリッシュなファサードの演出をはじめ、扉と組み合わせた憩いの空間や屋根付カーポートなど、自在なプランニングに応用できる。木質樹脂タイプ(マロンブラウン・セピアブラウン) / アルミタイプ(ステンカラー)。

◆「グランバトリス」: パーゴラタイプ・屋根付タイプ。柱と腰パネル部分に塗り壁を使用した「塗り壁タイプ」と「アルミタイプ」。前面に可動ルーバーパネル・ラチスパネルを用意。

■テラス——◆「バリューテラス」: Rタイプ・Fタイプ。耐積雪20cm相当・50cm相当。建物への穴あけが不要な独立施工タイプを用意。屋根材は熱線遮断ポリカーボネート板を採用。カラーは、ブラックつや消し・ステンカラー・ブロンズの3色。出幅方向500mm・開口方向700mmの柱の移動可能。2階・3階のバルコニーへの施工や「ファンデッキ」への設置可能。

◆「バリューテラスE」: メーターモジュール仕様。Rタイプ・Fタイプ。耐積雪20cm相当・風速34m/s相当。

◆「パーゴテラス」: 木組みデザインの斬新なフォルム。後柱仕様・前柱仕様。

■「勝手ヤード」: 使用目的にあわせて自在に組み合わせで、勝手口スペースを有効利用。アルミタイプ6デザインと木質樹脂タイプ6デザインのサイドパネルを用意。

四国化成「F.リード憩」、駐車スペースと建物の間に残る空間を価値ある憩いの空間へ



【最近の動き】 スタイリッシュなファサードを演出する「バトリス」につづき、住まいの中とつなぐ「リビングエクステリア」として、ガーデンルーム「F.リード憩」を展開する。四季を感じる庭のコンセプトにもとづき耐積雪50cm対応の高強度タイプを追加した。同時に、ガーデンルームに欠かせないデッキ「ファンデッキHG/SG」にも、「低床タイプ」や「高強度タイプ」を追加するなど、バリエーションが強化された。

ガーデンルーム「F.リード憩」の中でも、売れ筋はフルオープンで屋根下空間を広く使える「キューブタイプ」。雨天時にも前面の折りたたみ戸を開放できる「ルーフタイプ」も高評価。

また、デッキ「ファンデッキHG/SG」の売れ筋価格は3万4600円(標準仕様)。公共分野にも使用できる「高強度タイプ」の追加で、パブリック分野での新たな需要獲得が見込まれる。

さらに、テラス「バリューテラス」にも耐積雪50cm相当を品揃えするなど、パブリックエクステリア商品と同様に対象地域の拡大に取り組んでいる。

#### LIXIL

#### ガーデンラウンジ「ココマ」・人工木デッキ「樹ら楽ステージ」を主力商品にガーデンルーム市場の拡大リード

【自然浴エクステリア/ウォールエクステリア】■ガーデンルーム——◆エクシオール「ココマⅡ」: 2014年6月発売。ガーデンルーム・サイドスルー・オープンテラスタイプとそれぞれの腰壁タイプの6タイプに「L字壁タイプ」を追加。ライフスタイルに応じた豊富なバリエーションを品揃えするガーデンルームの主力商品。折戸パネルの把手部分を操作しやすい形状に変更したほか、新たに10尺出幅、側面



用引戸。側面腰壁用たてすべり出し窓を追加。さらに耐積雪20cm相当・50cm相当に加えて100cm相当仕様も追加された。乾式腰壁用接着剤張りタイルは6デザイン。屋根材がポリカーボネート板(クリア・クリアマット)・熱線吸収ポリカーボネート板・熱線吸収アクアシャインポリカーボネート板の4種。

◆エクシオール「ジーマ」:一折(2枚単位)ずつ移動させ、用途や季節に応じて自由な開け方が可能な新機構の折戸パネルを採用。◆エクシオール「暖蘭物語」:耐積雪20cm相当・50cm相当。基本タイプ:フルガラス仕様(折戸パネル)。腰壁タイプ:前面腰壁+フルガラス仕様/L字腰壁+フルガラス仕様/デザインパネル仕様/前面腰壁+デザインパネル仕様/L字腰壁+デザインパネル仕様。

◆エクシオール「ジーマテラス」/エクシオール「フィリアⅡ」(狭い敷地に最適な間口1.5間×出幅4尺タイプの多目的ガーデンルーム。インナーデッキ仕様、土間・デッキ仕様、テラス仕様)。

■デッキ——◆「樹楽ステージ」:芯材部に100%リサイクル樹脂と木粉を使用。LIXIL共通のクリエカラー全5色。デッキフェンス・ボードラインフェンス・モダンデッキフェンス・ウッドパーティション等を品揃え。◆「レストステージ」:人工木デッキ材。サイズ:高さ46mm×幅195mm。耐荷重180kgf/m<sup>2</sup>(短期)。カラー:クリエラスクA・クリエモカAにクリエダークAを追加し全3色。◆「木樹脂パーゴラ」(壁付けタイプ・独立タイプ)。

■テラス——◆「パワーアルファ」:テラスタイプ(耐積雪30cm相当・50cm相当・100cm相当)/造り付けバルコニー用屋根タイプ(2階・3階・4階柱付き。耐積雪30cm相当・50cm相当)/ビューステージHスタイル用屋根タイプ(2階・柱付き。耐積雪30cm相当・50cm相当)/ルーフタイプ(1階・2階・3階・柱なし。耐積雪30cm相当)。耐風圧強度42m/秒と、出幅4尺・4階建てに設置可能。

◆「ライザーテラスⅡ」:テラスタイプ(耐積雪20cm相当・50cm相当・100cm相当)をはじめ、造り付けバルコニー用屋根タイプ、ビューステージHスタイル用屋根タイプ、ルーフタイプを品揃え。◆「サンクステラスⅡ」/「エクスルーフ独立テラス」/「ナラ屋根・ナラテラス」(波板仕様)/「パドームⅡ」(日除け・雨除け用ルーフ)等。

■テラス囲い——◆「ほせるんですⅡ」(1階用

床納まり・土間納まり・土間床複合納まり。2階用造り付けバルコニー納まり・アルミバルコニー納まり。耐積雪20cm相当・50cm相当・100cm相当)/「ほせるんですⅡハーフ囲いタイプ・オープンタイプ(耐積雪20cm相当・50cm相当)。◆「サンクススペースⅡ」(床納まり・土間納まり・造り付け納まり・土間床納まり・フローリング納まり。耐積雪20cm相当・50cm相当・100cm相当)。◆「サンクスストックヤード」(多目的収納スペース)。

■サンルーム——◆「ルームトラス」(アールタイプ・角タイプ。フロア・土間納まり。耐積雪20cm相当)。■エントランスルーム・風除室——◆「ツインガードⅢ」:2014年6月発売。ノンレールの上吊りタイプ(従来の引戸タイプの約1.3倍の有効開口幅を実現。袖付2枚引デザインパネル木目調、ハンガー引戸等)。レール付タイプ(レール付引戸)等。

■バルコニー——◆「ビューステージSスタイル」(柱なしタイプ。横格子・サイディングなどデザイン面材13種類)。◆「ビューステージHスタイル/Fスタイル」(リフォーム対応の柱付きタイプと庭置き式扉付きタイプ)。■ベランダ手すり——◆「ベランダ手すりモダンパネル」(縦格子一体タイプ・横格子ルーバー・横格子面材・化粧格子等)/「ハンドラインⅢ」/「バー手すりⅢ」/「ベランダ手すりⅡ」等。

■オーニング——◆「彩風」:薄型ボックスの省スペースタイプ「C型」/張り出しの少ないスリムケースの「S型」/メッシュスクリーン内蔵の「CR型」/小型タイプ「ウィンドウタイプ」。◆「彩鳥L型」(対応角度がおおきい大型タイプ)。◆「彩樹A型」(取り付け場所を選ばない独立タイプ)/「彩樹B型」(アームのない独立タイプ)など。

【最近の動き】住宅用エクステリア業界のトップメーカー・リーディング企業として、自然浴エクステリア「エクシオール」シリーズに代表される空間エクステリア市場を創出し、業界全体にガーデンルームの開発・普及を促がした。

LIXILの空間エクステリア商品群は、エクシオール・ガーデンルームをはじめ、庭を間取る「+G」、大型スクリーン「コートライン」、各種のデザイナーズパーツなど多岐にわたっている。その中でも主力商品は、ガーデンラウンジ「ココマ」、自然浴家族「ジーマ」、エクシオール「暖蘭物語」と、そのガーデンルームと組み合わせて快適空間形成



「エクシオール」シリーズのガーデンルームの主力商品「ココマⅡ」は、リフォームにも対応する「樹楽ステージ」の人工木デッキのシリーズ。

する「樹楽ステージ」の人工木デッキのシリーズ。

空間形成商品群の一翼を形成する人工木デッキ「樹楽ステージ」「レストステージ」は、ガーデンルームやテラスとの組み合わせやデッキ単体で使用されることもおおく、年率10%増をキープしている。エクステリアリフォームの主力商品のひとつとして、更なる伸びが期待されている。

同じようにテラス・テラス囲いも、着実に実績を積みあげている。その中でも「ほせるんですⅡ」を主力商品としたテラス囲いの伸びが伸びている。主に全天候型の洗濯物干し場として利用されるケースがおおい。テラスは、「パワーアルファ」を中心に展開する。耐積雪30cm・50cm・100cm相当を品揃えするなど、販売対象地域を広げている。

一方、ウォールエクステリアの主力商品であるバルコニーは、「ビューステージ」シリーズで新築・リフォームの双方に対応する。新築向けでは、主に造り付けタイプ・柱なしの「ビューステージSスタイル」で対応する。リフォーム向けには、柱付き「ビューステージHスタイル」、庭置き扉付き「ビューステージFスタイル」を提案。販売比率は、柱なし35%、柱付き35%、庭置き30%と、リフォーム需要を主体に展開。造り付けタイプの増加には、最新の最新住宅スタイルに対応する「ベランダ手すりモダンパネル」など、バリエーションを強化している。

また、最近の窓・玄関部の節電・省エネ効果を高めて、快適な室内空間を求める動きは、「彩風」シリーズを主力にしたオーニングの需要を拡大している。さらに、玄関部の防風・断熱効果を高める風除室「ツインガードⅢ」も、高い伸びをみせているウォールエクステリア商品のひとつだ。

## YKK AP

### テラス囲い「サンフィールⅢ」に「木調ガーデンルームタイプ」追加、比較的安価にアウトドアリビング空間創造

【空間形成商品/ウォールエクステリア】■ガーデンルーム——◆「アウトドール」:テラスAタイプ・Bタイプ/ガーデンルームタイプに、新たにインナー高土間納まり/リウッドデッキ200納まりを追加。耐風圧性能基準風速V<sub>0</sub>=34m/s、耐積雪性能20・50・100cm相当の各タイプを用意。正面に多機能ルーバーや、採光(光触媒コート付き強化ガラス)・通風・目隠し・緑化機能のデザインパネル7種を用意。ガーデンルームタイプの側面には、ハンガー2枚引き込み戸を採用。◆テラス囲い「サンフィールⅢ木調ガーデンルームタイプ」:ガーデンルームの新商品。リウッドデッキ200納まり/土間仕上げ納まり等。フラット前枠形状に雨樋を内蔵したスマートでモダンな意匠が特長。フルオープン可能な折りたたみ戸・収納網戸を採用。

■デッキ材——◆再生木デッキ「リウッドデッキ200」:デッキ間の目地幅3mm、関東間・メーターモジュールに対応した200mmピッチ、簡単施工のスライド固定方式を採用。デッキ材を部分的に取り替えられるメンテナンス用デッキ材押さえ金具も用意。「バルコニー用リウッドデッキ200」も品揃えする。■空間形成商品——◆エクステリア空間システム「リレリア」:敷地のサイズや目的に応じて好みの外部空間を創造するオーダー感覚のシステム商品。

■テラス屋根——◆「ヴェクター」:新たに側枠木調色を追加し、屋根フレームを木調色で統一可能。目隠しパネルや水平式物干しロングタイプを追加。「バルコニーBC-X型」専用屋根の場合、基準風速V<sub>0</sub>=30~40m/s相当・耐積雪20・50・100cm相当を用意。「躯体式バルコニー屋根・バルコニーアネーロ屋根・持ち出し屋根」の場合、基準風速V<sub>0</sub>=30~40m/s相当・耐積雪20・50cm相当を用意。◆独立テラス屋根「エフルージュグランZERO」:2014年新商品。住宅の外壁に穴をあけることなく設置できるため、様々な躯体条件に対応。躯体から独立したT字構造であるため建築面積に不算入となり、建ぺい率を使い切った現場でも取り付けられることが特長。壁との隙間に「ふさぎ材」

をオプション設定。基準風速 $V_0=38\text{m/s}$ まで対応・耐積雪20cm相当に対応。

■テラス囲い——◆「サンフィールⅢ」：2014年木調ガーデンルームタイプ新発売。スタンダードタイプに床納まり・土間納まり・リウッドデッキ納まり。

◆「躯体式バルコニー囲い Type II」：腰壁躯体高さがひくいリフォーム現場でも対応可能。下枠の下にふかし枠（無目）を這わせてH1100mmを確保。トップレールの現場にも対応する。◆「躯体式バルコニー囲い」：エアルーバーを2個設置して風を循環させて雨の日にも洗濯物を干したまま外出できることが特長。耐積雪20・50・100cm相当に対応。「エアルーバー」は1階部にも水平展開された。

■風除室「セクターⅢ」／外部収納「ストックヤード」等。

■バルコニー——◆「アネーロ」（造り付けタイプに対応する持ち出し式バルコニー）／「BC-X」（柱建て・屋根置き式の普及品）／「エアキューブ」（2階部に庭空間を創造できる大型バルコニー）。

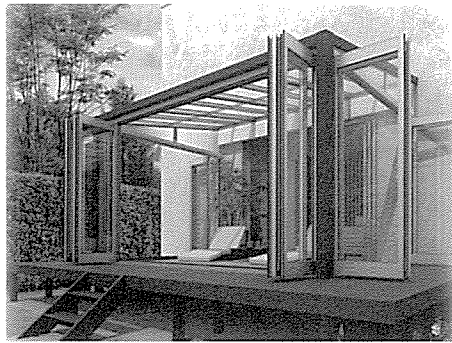
■バルコニー用手すり——◆「ハンドレール」（木調格子のTypeG／縦枠なしの面材強化ガラスのTypeM／フラットフレーム基調のTypeF）／「レグザハンドレール」（アルミとリウッドのハイブリッドデザイン）／「シンプルモダンハンドレール」／「トラディショナルハンドレール」（ロートアイアン調）／「ハンドレールⅡ」等。

■オーニング——◆「サンブレロ」（Type01：角度設定機能付き／Type02 標準タイプ／Type03 店舗用／Type04 小窓用）。■関連商品——◆「日射遮蔽スライディングオープンルーバー」（ローエネパッシブ住宅への新提案。上吊り引戸形式）。◆「エントランスシステムひさし」（玄関ドア・ヴェナートやガーデン商品・ルシアスとトータルコーディネート可能）。◆「アウターシェード」（デッキやリレーリア、フェンスなど取り付け可能な日射遮熱商品）等。

【最近の動き】 ガーデンルーム「アウタールーフ」にインナー高土間納まり・リウッドデッキ200納まり、テラス囲い「サンフィールⅢ」に木調ガーデンルームタイプを追加し、空間形成商品のバリエーションを充実させている。

2階バルコニーを含む建物外側から道路・隣地境界までの中間領域に新たな快適空間を創造するモジュール型システム商品「リレーリア」と、ガーデンルーム・ガーデンテラスを主力商品として空間形成商品分野への浸透を図っている。

YKK AP…テラス囲い「サンフィールⅢ」の木調ガーデンルームタイプ、「フラットレール」と「エアキューブ」の空間演出



これらの空間形成商品のベースとなる再生木デッキ「リウッドデッキ200」は強みのひとつ。デッキ市場を天然木から人工木へとリードした「リウッドデッキ200」は、「リレーリア」「アウタールーフ」と複合採用されるケースがおおい。売れ筋価格は1㎡あたり設計価格3万6500円。

テラス囲い「サンフィールⅢ」は、躯体式バルコニー囲いにつづき、木調ガーデンルームタイプを新発売した。洗濯物干し場に加えて憩い癒しの場やガーデニング、物置などユーティリティースペースとしてのニーズを喚起する狙いがある。これにデッキを組み合わせると、比較的安価にアウトドアリビング空間を実現することも可能だ。

テラスは、耐積雪100cm相当まで対応できる「ヴェクター」シリーズを主力に展開する。販売全体の90%を耐積雪20cm相当の一般地域用が占めているが、最近の豪雨や大雪被害の増加により高強度タイプが徐々に増えているようだ。

一方、ユニット式バルコニーは、造り付けタイプの増加で苦戦を強いられているが、タイプ別には柱なしタイプ40%、柱建てタイプ30%、屋根置きタイプ30%の販売比率。リフォーム需要を主体にした展開は変わらない。

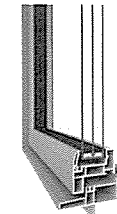
バルコニー用手すりは、木調格子、強化ガラス、アルミ×リウッドのハイブリッド、ロートアイアン調など豊富な面材バリエーションで、あらゆる建物外観スタイルに対応できる品揃え。

そのほかにも風除室「セクターⅢ」、オーニング「サンブレロ」に実績を積みあげる。夏場の省エネ・遮熱対策として、「日射遮蔽スライディングオープンルーバー」や「アウターシェード」などの窓まわり商品への関心が高まっており、今後の成長が期待されている。

YKK AP

国内最高の断熱性能U値0.78を実現したクリプトンガス入・トリプルガラス樹脂窓「APW430Kr」発売

YKK AP（堀秀充社長）は、国内最高の断熱性能とシンプルでスリムな意匠性に優れたフレームデザインの高性能トリプルガラス樹脂窓「APW430Kr」を開発し、昨年12月19日新発売した。



昨年4月発売の「APW430」のフレームに断熱材を挿入するとともに、空気層にクリプトンガスを注入し、世界トップクラスの断熱性能を実現したもの（たてすべり出し窓+FIX連窓（W1690×H1370）、ダブルLow-E、クリプトンガス入りブルーで、熱貫流率（U値）0.78W/㎡・K）。

バリエーションは、たてすべり出し窓（単窓、連窓、段窓、スリット、ウインドキャッチ連窓）、すべり出し窓（単窓、連窓、段窓、スリット、大型スクエア）、FIX窓、開き窓テラス、テラスドア（単窓、連窓）、勝手口ドア。カラー：外観ホワイト・プラチナステン・ブラウンの3色、内観ホワイト。ガラス：ブルー、ブロンズ（日射遮蔽型）。希望小売価格：たてすべり出し窓・W640×H1170mmで9万1600円。

樹脂窓の売上高10%を超えた、高断熱タイプと防火タイプの品揃えて大都市部への普及に手応えを感じる

堀社長は、現段階で国内最高の断熱性能をもった「APW430Kr」を発売し、昨年10月には樹脂窓がいまひとつ普及しない理由であった防火性能をもった「APW330」を発売している。これにともない大都市部にも普及させることが可能な品揃えができた。供給体制も東北、六甲の稼働で窓工場は全国4拠点に拡充した。販売も昨年の秋口からは計画通りに進んでおり、すでに窓全体の売上高の10%を超えている。今後ともさらに樹脂窓の普及に努めたいとコメントした。

三協立山

米国・Aleris社のアルミ押出事業部門をベルギーに100%子会社設立し譲受、マテリアル事業を拡大

三協立山（山下清胤社長）は、米国オハイオ州ク

リーブランドの非上場企業で北米・欧州・アジアに約40ヶ所の生産拠点を有する、アルミ圧延品・押出成形品メーカー・Aleris International, Inc.（以下Aleris社）のアルミニウム押出事業部門に属する子会社・Aleris Extrusionsの株式及び事業用資産を取得し、2月1日に事業を譲り受ける予定。

この取得は、三協立山がベルギーに設立する100%出資子会社・Sankyuu Tateyama Euro BVBA（ベルギー）が行ない、事業の運営及び統括・管理もおこなう予定。譲受額は35.5百万ユーロ（約52億円）。

Aleris社のアルミニウム押出事業は、高度な合金・押出・加工技術が強みに、航空機、鉄道、自動車などの幅広い分野で、世界的メーカーを顧客に事業展開している。株式取得対象はドイツの2社、中国の1社、資産取得対象はベルギーの1社。最近3年間の連結売上高は、平成25年12月期267.7百万ユーロ／24年12月期278.0百万ユーロ／23年12月期293.8百万ユーロ。

今回の譲受について、重点戦略として掲げる非建材事業強化（マテリアル・商業施設）ならびに海外展開に向けた取り組みの一環であり、マテリアル事業を中心にさらなる事業拡大をめざすものと発表。

LIXIL

寒冷地対応k1.5仕様ドア厚60mmの高断熱玄関ドア「グランデル」発売業界最多21デザイン・16色品揃え

LIXIL（藤森義明社長）は、ドア厚60mmの高断熱玄関ドア「グランデル」を、業界最多の21デザイン・16色ラインアップし、1月から全国発売を開始した。

高断熱玄関ドア「グランデル」は、平成25年省エネルギー基準におけるドアの最高基準（熱貫流率性能1.75W/㎡・K）をクリアする寒冷地対応k1.5仕様。高性能樹脂窓「エルスターX」との組み合わせにより、高いレベルでの家1棟全体の高断熱化、省エネルギー化を実現できる。

デザインバリエーションは、ボリューム感のあるラウンドモールデザイン（3デザイン）、木調の洋風デザイン（10デザイン）、高級感と存在感を備えたストリームハンドルデザイン（4デザイン）、シンプルなモダンデザイン（4デザイン）。カラーは、人気の木目色「クリエカラー」10色、パール色・メタリック色4色・アルミ色2色。ハンドルにシリンダーと一体化したすっきりとしたデザイン「S型」など4種類を用意。参考

価格：片開き17型・S型ハンドル36万4000円。

無目見付・業界最小100mmの「セミオートドアスリム100S」発売、低コストでセミオートドアへの改装実現

LIXILは、セミオートドア「オートドアスリム100S/R」シリーズに、無目の見付寸法を業界最小100mmとした「セミオートドアスリム100S」を追加、昨年12月発売を開始した。



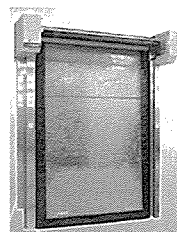
「セミオートドアスリム100」は、間仕切りの開口部などに採用されるゼンマイばね式のクローザ機構を採用したセミオートドア。電気を使用しないので配線工事も必要なく、電気代や点検の費用なども掛からず、低コストで導入できることが特長。

また、無目見付寸法100mmとコンパクトな設計で、飲食店内の視認性を損なうことなく「分煙スペース」設置など改装工事を行なうことができる。床面のレールをなくした「ノンレール仕様」も揃えており、大掛かりな床工事も不要で、工期も短縮できる。幅広い既存物件に対応可能なスクリーン仕様・腰壁仕様・ランマ付き仕様・ランマなし仕様などを揃えている。オプションに安全性をさらに高める「TSガードスクリーン」も用意。カラーは、ナチュラルシルバー、シャイングレー、ブラック、艶消しブロンズ、ホワイトの5色。参考価格：ランマ付きスクリーン仕様・ナチュラルシルバー色・サイズW1800×H2500mmで25万円。

### 文化シャッター

マイナス30℃の低温環境下でも上昇速度秒速1.7mを実現した、冷蔵・冷凍倉庫向けの高速シートシャッター「大間迅Mフリーザタイプ」を新発売

文化シャッター（茂木哲哉社長）は、マイナス30℃の低温環境下でも、低温用シートシャッターでは業界最速の1.7mの上昇速度を実現した、冷蔵・冷凍倉庫向けの高速シートシャッター「大間迅Mフリーザタイプ」を昨年12月1日新発売した。



凍結防止対策として、独自の低温対応シートを採用するほか、安全装置やガイドレールなどの主要

部位に、庫内の温度に応じて自己温度調整をおこなう仕組みの凍結防止用ヒーターを設置、30分に1回自動開閉を行なうことでシート表面の霜を落とすなどの対策を講じている。

マイナス30℃～マイナス10℃の低温環境に対応するF1級。急上昇速度秒速1.7m、下降速度秒速1.2mの高速シート開閉速度で節電や省エネに貢献する。強制駆動方式（二軸式）、セルフリペアリング方式を採用したパイプレス構造なども特長。設計範囲が幅1000～3000・高さ1500～3000mm。参考価格幅2500×高さ3000mmで370万円。

### 昭和フロント

「ストアフロントコンクール」の応募  
作品募集中、締切り2月23日（月）

昭和フロント（長谷川伸二社長）は、「第46回ストアフロントコンクール」を開催、応募作品を募集している。応募締切りは2月23日（月）。

募集部門は、第1部店舗建築部門（大型店舗、複合施設、専門店、飲食店、サービス業、娯楽施設、宿泊施設）。第2部一般建築部門（住宅、事務施設、医療・福祉施設、教育施設、文化施設、交通関連施設、その他）。第3部アイデア部門（アルミ形材を活用した作品：モニュメント、装飾類、エクステリア、家具、その他）。

2014年3月1日から2015年2月23日までに引渡し完了、または完了予定の昭和ストアフロント製品を採用した作品。第1部・2部からグランプリ作品1点（賞金総額60万円＋記念品）、各部門の金賞・銀賞・銅賞をそれぞれ1作品ずつ、3部で優秀賞1作品・優良賞2作品を選出する。

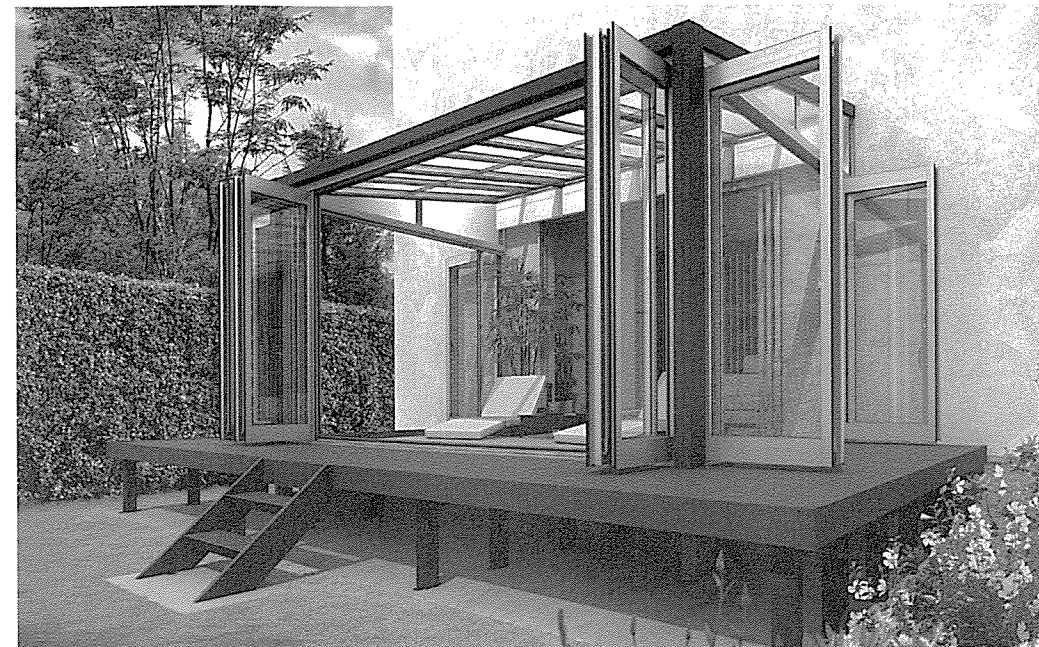
### セイキ販売

一般ユーザーが見やすい構成に  
ホームページをリニューアル公開

セイキ販売（守谷将人社長）は、オフィシャルサイトをリニューアル公開した。「より見やすく」「より使いやすく」をテーマに、一般ユーザーが見やすい構成に変更したほか、セイキ商品の取扱店を掲載している。また、ビジネス向けにもCADデータのダウンロードが容易にできるようにした。網戸や省エネ商品のコンテンツをボリュームアップしている。  
<http://www.seiki.gr.jp/>

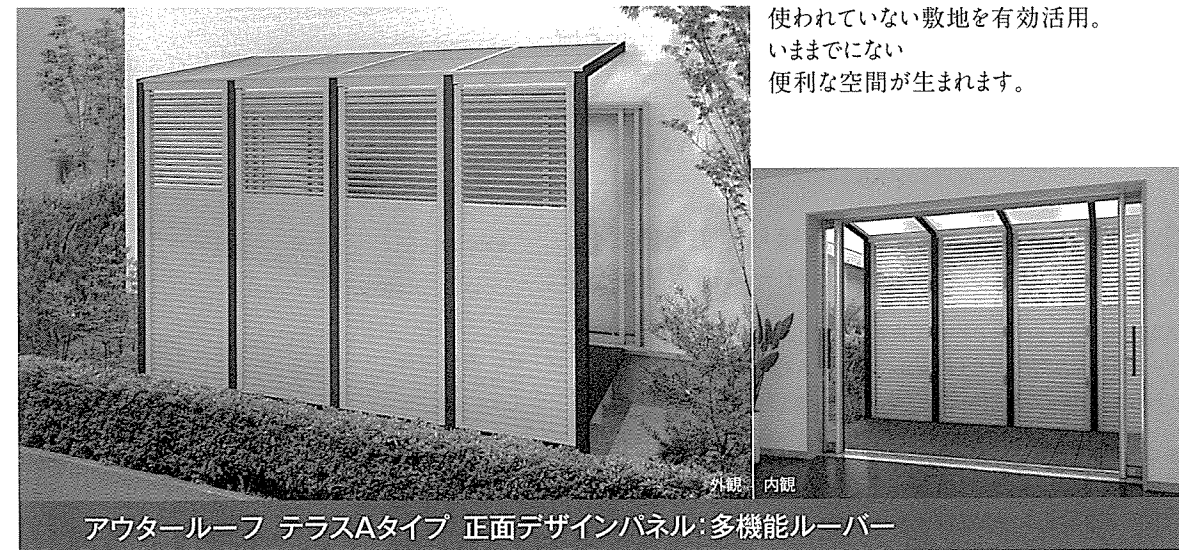
## 四季を楽しむスペースです。

庭先にくつろぎの大きな空間をつくります。



サンフィールⅢ テラス囲い 木調ガーデンルームタイプ

## 安心なプライバシー空間を。



使われていない敷地を有効活用。  
いままでない  
便利な空間が生まれます。

アウタールーフ テラスAタイプ 正面デザインパネル：多機能ルーバー

YKK AP株式会社

一般のお客様 ☎0120-20-4134 建築・設計関係者様 ☎0120-72-4134  
●受付時間/月曜～土曜9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)  
<http://www.ykkap.co.jp/>

YKK  
AP